

2014年3月期第3四半期 決算説明会 主な質疑応答（要旨）

Q1

2014年3月期第3四半期（単体）の連結業績は、前年に対して増収減益となりましたが、一時的な費用増加によるものなのか、今後も費用増加が見込まれるのか、要因を教えてください。

A1

- デリバリー事業においては、インターネット通販市場を中心とした宅急便取扱数量の大幅な増加により収益は着実に増加しましたが、社内ルール不徹底が判明したクール宅急便の再発防止策を講じた為、一時的な費用が大きく増加しました。
- また、第3四半期は宅急便の取扱数量が大幅に増加する時期ですが、増加時においても、配達品質を維持する為、基幹社員の増員を中心とした体制整備を推進したことも費用増加の要因の一つです。

Q2

2014年3月期第4四半期（単体）の営業利益は、過去最高の見通しとなっておりますが、達成に向けたコストコントロール施策を教えてください。

A2

- 第3四半期に採用した社員の戦力化を推進し、適正な人員配置を行うことで、集配の外部委託に係わるコストを抑制してまいります。

Q3

2014年3月期第3四半期時点での宅急便の単価動向と、適正運賃收受施策に対するお客様の反応について、教えてください。

A3

- 足元の単価については、前年に対して $\Delta 2.7\%$ となっておりますが、下落要因は個数構成比の変化によるものと分析しております。
- 労働需給の逼迫等、当社を取り巻く環境の変化が予想される中、安定的な宅急便の品質維持・向上に向けた適正運賃收受施策については、お客様からは徐々に受け入れられつつあります。

以上